

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
【 国 語 】

書名 項目		新編 新しい国語（東京書籍）
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり		<p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」それぞれの学習材で身につけたい知識・技能のポイントが、「言葉の力」として明確に示されている。3年間の学習を系統的に積み上げ、「言葉の力」を効果的に習得・活用できる構成になっている。</p> <p>○巻末に「学びを支える言葉の力」が用意され、本編で学習したことを深められる配置となっており、一つの単元の中で思考力、判断力、表現力を高められるようになっている。</p>
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○学習材の冒頭に「目標」「学習の流れ」が提示され、学習の見通しをもつことができる。「学びを支える言葉の力」（基礎編）では、「話す・聞く」「書く」「読む」に共通している基礎的な「言葉の力」を、取り立てて鍛えることができるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「話す・聞く」「書く」の学習材では具体例や完成作品例を複数提示する工夫がされている。そして、各学年とも巻末に「話すこと・書くこと 題材例」が用意され、生徒の思考・表現を支援する配慮がなされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○個性あるキャラクターが案内役となり、様々な気づきを促している。また、「文法の窓」ではゲーム感覚で学べる工夫がされている。また、学んだことが国語や他教科の学習、実生活にどう生きていくのかを、「つながる・広がる」の中で確認することができる。</p> <p><言語感覚を豊かにする工夫></p> <p>○「読む」の学習材末に「広がる言葉」「広がる漢字」、資料編に「言葉を広げよう」が設けられており、語彙を豊かにする手立てが工夫されている。また、「読書案内」が用意されており、3年間で305冊もの本が、紹介文と写真入りで掲載されている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○口絵と扉に季節感のある言葉や詩歌が掲載され、1年を通じて日本の豊かな風土に培われた言語文化に親しむことができるよう配慮されている。</p>
	資 料	<p>○1年次では、「猫」をテーマとして生徒を古典の世界へといざなう導入学習材を設けている。また、作品の紹介・鑑賞の文章や写真資料が豊富に掲載されている。</p> <p>○巻末の「資料編」には、学習したことを生かし、自主学習できる素材が掲載されている。</p> <p>○「古典の文法（3年）」を学べる等、高校国語へ移行しやすいような配慮がされている。</p>
	表 記・表 現	<p>○新出漢字の初出箇所には、振り仮名が付けられている。</p> <p>○色遣いやページデザインが統一され、書体や字の大きさも見やすく工夫されている。</p>
総 括		<p>○国語学習で身につけたい知識・技能のポイントが各学習材で明確に示されている。そのポイントが各学習材間でつながりを持ちながら、3年間で系統的に積み上げられるように配置されている。各学年とも巻頭に学習の進め方が折り込みで提示されており、生徒が見通しを意識しながら、意欲的に学習に取り組める点で、学び創造プランに生かすことのできる内容になっている。</p>

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

【国語】

書名		中学校国語（学校図書）
項目	教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的な力から、段階的に力をつけるために、「読むこと」では単元ごとに3つの教材を配置し、「習得」から「活用」へと、身につけた力を踏まえて学習を進めることができるような構成になっている。</p> <p>○伝え合う力をつけることに重きをおいた「話すこと・聞くこと」「書くこと」の活動が配置され、また古典教材ではその魅力を伝える工夫が導入されている。</p>
特色	特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「読むこと」において、単元ごとに3つの教材が配置されている。教材毎にある「学びの窓」も発展的に学べるようになっている。初めの教材では脚注を参照に、2つ目以降は前教材で学んだことを踏まえて学習する構成になっており、「習得」しやすくなっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「学びの窓」では「自分の考えをまとめる」「交流する」学習が多く、単元毎の選択教材では第1、第2教材の学習が更に「活用」できるようになっている。「話す・聞く」「書く」の学習前に「活動を考える」が設定され、本編に向け練習できるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○教材毎に学習目標が設定され学習の見通しをもたせるとともに、「目標がどのくらい達成できたか」「どのような力がついたか」等、終わりに自己評価できるようになっている。また、読み物教材の前に、「発見する読み」で読むための要点をおさえている。</p> <p><言語感覚を豊かにする工夫></p> <p>○読み物教材の数が多く、近現代の名文や翻訳など、多様な文章に触れられるようになっている。また、「学びの窓」「発見する読み」などで語彙選択や文体選択の意図や効果をとらえる学習が設定され、学んだことの実践ができる教材が掲載されている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○古典教材の導入では、興味関心が広がる古典語彙や古典文学の解説文が掲載されている。その他、言葉の不思議さや豊かさを実感させる教材が多く、漢字や語句について学ぶ「～を見抜く」ではページ数を多く割き、興味関心が持てるようレイアウトも工夫している。</p>
	資 料	<p>○各単元の扉に音朗読用・暗唱用の詩を紹介し、言語活動の活性化や言語感覚の練磨を図っている。</p> <p>○各学年に、文法や語彙、古語の学習が巻末にまとめられ学習しやすくなっている。</p> <p>○1、2年の脚注には小学6年で学習した漢字も掲載されている。</p>
	表 記 ・ 表 現	<p>○「読むこと」は青「話すこと・聞くこと」は赤と、観点毎にページの色が違っている。</p> <p>○挿絵は多くないが大きく印象に残るデザイン。2、3年よりも1年は活字が大きい。</p>
総 括	<p>○読み物教材が多く充実しているため「読むこと」の学習効果が期待できる。また、過去の教材との関連が考慮されており、学習の積み重ねができるようになっている。「学びの窓」では自分の考えを直接書き込めるようになっていて、予習復習にも便利である。学習者が教材ごとに学習の目標とついた力を確認しながら主体的に学習を進められる点で、学び創造プランに生かすことのできる内容になっている。</p>	

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

【 国 語 】

書名 項目	現代の国語（三省堂）
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<p>○「つけたい力」を巻頭にて明確化し、単元では「学び方」を提示して、主体的な学びを促すよう構成している。また、他者とのかかわりや話し合いなど、交流・協働する活動が配置されている。文学教材では豊かな心を育てるための教材も配慮されている。</p> <p>○「資料編」では、言語文化や言語芸能を取り上げ、情報の収集や発信に関することや読書活動の充実など実践的に活用できる内容がまとめられている。</p>
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○基礎的・基本的な知識・技能を「つけたい力」として領域別に示し、段階的に繰り返すことで、力の習得ができるよう配列している。また、「学びの道しるべ」で力の習得のための課題を簡潔に示している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○「読み方を学ぼう」において、思考力・表現力を伸ばす方法が視覚的にも工夫されて提示されている。また、習得した方法を他の教材の学習や日常の読書活動などの機会に使うことによって、判断力や実践的な力がつくよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「読み方を学ぶ」において、図解など見やすい工夫がされている。「学びを広げよう」で学んだことをふりかえり、そこから他の教材や自主的な学習で繰り返し活用することで主体的に学習できるよう工夫している。</p> <p><言語感覚を豊かにする工夫> ○伝統的な言語文化において、代表的な文章とともに写真や絵巻などの資料が興味を持てるよう配置されている。また「実践的に役立つ力や方法」が「読むこと」や他の学習、生活の中で学べるように工夫されている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫> ○生活の中に伝統文化が深く根づいていることが実感できる教材を配置し、資料編においても文化としての国語に幅広く触れることができるようにしている。</p>
資 料	<p>○資料編では、実践的知識や方法とともに、家庭学習を含めた自主的な学習に役立つ教材をまとめている。「読書の広場」「考える広場」「参考資料」で構成されている。</p> <p>○写真やイラストも見やすく、落ち着いてページを進めることができる。</p> <p>○資料が豊富で、課題をつかむために有効である。</p>
表 記・ 表 現	<p>○活字は見やすく、各ページの配色も穏やかで落ち着いて学習できる。</p> <p>○「学び方を学ぶ」では図を効果的に活用し、わかりやすく説明できている。</p>
総 括	<p>○学習の方法を学び、その活用を繰り返すことによって、主体的に学習し段階的に力をつけるよう構成されている。資料編では学習を効果的に進めるための知識、他の教科の学習や生活の中で役立つ知識が見やすく整理されている。また、他との関わり合いや話し合いなど、交流、協働する活動を取り入れ、説明する力を伸ばし、生徒の主体的な学びを支える点で、学び創造プランに生かすことのできる内容になっている。</p>

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
【 国 語 】

書名 項目		伝え合う言葉 中学国語（教育出版）
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり		<p>○「言葉の力」を高めるために、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「伝統的な言語文化」のバランスをとりながら一年間の学びの中に配置されるよう、各学年7～8単元で構成されている。</p> <p>○「言語能力」と「話題」を組み合わせ、各教材の学習内容の重点や言語活動の過程を明確に示して、具体的な活動がわかりやすくなっている。</p>
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「読むこと」の学習では、学習の進め方や、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように、教材末に「みちしるべ」が配置されている。また、巻末の「漢字」に、新出漢字を単元ごとにまとめて復習するための練習問題がついている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○学習の手引き「みちしるべ」が「確かめよう」「深めよう」「考えよう」の3段階に整理されている。また、解説を加えた「ここが大事」を通して学習の振り返りを行うことで、思考力、表現力、判断力の育成を図っている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○教材冒頭に「学習の目標」が示され、学習の見通をもちやすくしている。また、「みちしるべ」に「目標と振り返り」のチェック欄があり、初めに示された目標を身につけられたかどうか自己評価を記録できるようになっている。</p> <p><言語感覚を豊かにする工夫></p> <p>○「四季のたより」「受け継ぎ・伝える言葉」「言葉と仕事」など、豊かな言葉の世界にふれられるよう工夫されている。また、「言葉の小窓」「文法の小窓」で身近な言葉の課題に気づかせ、解説編で詳しく学習できるようになっている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○巻末の折り込みに古典文学史年表、文語文法活用表、古典作品・伝統芸能へのいざないなどがあり、日本の伝統的な言語文化についての幅広い知識と教養を育み、伝統と文化を尊重する態度を育てるための資料がそろっている。</p>
	資 料	<p>○本の紹介は表紙が鮮明に示され、教材ごとの写真や図、絵等も効果的に用いられている。</p> <p>○「理解や表現に役立つ言葉」「学習に必要な用語」の索引があり、関連するページに戻って学習できるようになっている。</p> <p>○巻末に「古典作品・伝統芸能へのいざない」としてカラーの折り込みページがある。</p>
	表 記・ 表 現	<p>○読み物教材の行間は、書き込みがしやすいように広がっており、脚注の文字が大きい。</p> <p>○本文の下段に行数の表示だけでなく、1行ごとに「・」が記されている。</p>
総 括		<p>○教材ごとの指導事項や目標を整理して示してあり、学習内容の重点が把握しやすい。具体的な言語活動に取り組んだ後に、学習のポイントを確認するという流れがあり、教材以外の文章に、学んだことを生かすための工夫がなされている。みちしるべにおいて、情報の取出し、内容の解釈、考えの形成という道筋に沿い、考えられるように発問が工夫されている点で、学び創造プランに生かすことのできるよう内容になっている。</p>

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

【 国 語 】

書名 項目		国語（光村図書）
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり		<p>○基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、幅広い分野の文章を取り上げ、読み進める中で文章構成や論理展開を学び、正確に理解する力の育成を図ることができるような構成にされている。</p> <p>○国語に対する関心や理解を深めるとともに、実生活で生きてはたらし、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を、言語活動を通して育成することをねらいとしている。</p>
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○年度当初に「話し方」「聞き方」といった基本的な学びの確認が行えるように編集されている。また、各教材の冒頭で「目標」を示すとともに、「学習」でその目標を達成できるように学びの過程を示し、習得できるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、「他教科に生かす」「生活に生かす」といった項目を立て、学びを応用できるよう編集されている。また、各学年の最後に「学びを振り返ろう」という総まとめ的な学習を設定し、「探求」に結びつけている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○巻頭の「学習の見通しをもとう」で教材を観点別に整理し、先を見通した計画的な学習ができるようにしている。巻末に「学習のための用語一覧」「～的な文章を読むために」を設け、基本的な学習用語をまとめ、学習に生かせるようにしている。</p> <p><言語感覚を豊かにする工夫></p> <p>○「読むこと」の教材では「言葉を広げる」を設定し、語の使われ方や意味等について深く考えられるようにしている。また、「漢字を確認しよう」では、漢字や語句についての知識を確認したり広げたりできるようにしている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○古典教材では「音読を楽しもう」を設定し、楽しんで音読できる発達段階に応じた古文を取り上げ、古文の言葉の響きの良さを実感できるようにしている。「季節のしおり」では四季それぞれに関連する詩、短歌、俳句、二十四節気、季語などを紹介している。</p>
	資 料	<p>○巻末に「学習を広げる」として、本編の学習活動と関連のある資料が掲載されている。</p> <p>○読み物教材で関連図書を紹介するだけでなく、読書教材でも様々なジャンルから多くの本を紹介している。</p> <p>○巻末の新出漢字表では、部首・画数・用例とともに筆順も示されている。</p>
	表 記・ 表 現	<p>○形や濃淡で識別でき、判別しにくい色は組み合わせないなど、色覚特性に配慮している。</p> <p>○様々な記号を用い、学習の観点や学習活動が分かりやすくしてある。</p>
総 括		<p>○各教材の学習内容が明確で、習得と活用の繰り返しにより知識・技能が育成できる。生き方を考えさせたり、認識を広げさせたりするような教材が多く、生徒が興味・関心を持って学習でき、生活に役立てられるようになっている。直接記入できる漢字学習のページや巻末資料も豊富で、使いやすい構成である。また、教材でつける力が観点別に整理され、学習の関連性について見通しをもたせ、学習意欲を喚起する点で、学び創造プランに生かすことのできる内容になっている。</p>